



兵庫県立大学 生涯学習公開講座ダイジェスト

令和5年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座

【地球史3億年：日本列島とユーラシアの大陸移動を追跡！】

日 時： 2023年8月26日（水）13:30～15:00

受講者数：18名 会場：F202 講師：宇野康司教授

○テーマ・概要

私たちが暮らしている日本はどのように形成されたのでしょうか。地球規模で生じた地質時代の環境変動について研究されている宇野先生から、地球の歴史である「地球史」の一端をご紹介します。

○内 容

当日は、酷暑のなか、高校生から高齢者の方まで計18名の方に参加頂きました。大好きな専門分野の話が90分もできる！と、とても楽しそうにお話しされるので、参加者も引き込まれ、食い入るように聴きいっておられました。

宇野先生のご専門は、地質学と物理学に基礎を置いた古地磁気学で、“地層はすごい！”というところからお話されました。ひとつの地層から、海洋・大気・宇宙の〈三次元〉の情報が得られ、地球環境の変化、生命の進化、気候変動が分かるそうです。古文書から歴史を知るように、地層から歴史がわかる。地層は、1次資料であり、景色がすべて情報になる。地球の歴史である「地球史」を学ぶ意義は、日本史や世界史と同様「過去に学んで未来に生きる」ことにあり、人間が住む地球のよりよい未来を選択できるようになるためであることが良く理解できました。

3億年前の地球には、世界の大陸をひとつにまとめたような「超大陸パンゲア」が存在しました。アフリカ・南米・オーストラリア・南極・北米大陸などは、すべてパンゲアから分離した大陸です。しかし、ユーラシア大陸だけここに名前が挙がりません。そこで、先生は、超大陸が分裂する一方、日本列島を含むユーラシア大陸が形成されていく過程をアムール虎との遭遇リスクがあるロシア沿海州の地質調査時のエピソードも交えながら、パワポのアニメーション機能を使い分かりやすくお話して下さいました。

ご講演後の質問も多く、特にオープンキャンパスにも来校して下さった高校生が熱心に質問していました。「ご講演の第2弾はないのか？」との声もあり、好評のうちに終了しました。

